

9月は自殺対策強化月間です

—気づいてください！体と心の限界サイン(九都県市自殺対策キャンペーン統一標語)—

自殺対策基本法では、9月10日から9月16日を「自殺予防週間」と定めています。

九都県市(※1)では、この週間に合わせ、9月を「自殺対策強化月間」と位置付け、包括的な普及啓発を実施しています。横浜市においても、ライトアップなどの啓発活動を実施します。

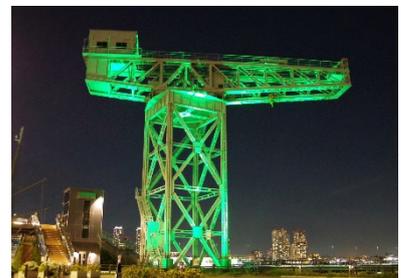
※1 九都県市…埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、横浜市、川崎市、千葉市、さいたま市、相模原市



横浜市庁舎



大観覧車「コスモクロック 21」



ハンマーヘッドクレーン

1 自殺対策カラーでライトアップ(神奈川県と共催)

横浜を象徴する建物等(11か所)をグリーン(※2)でライトアップします。

※2 神奈川県では自殺対策のテーマカラーを、「信頼の芽生え」や「生きる力の回復」等を表す「グリーン(もえぎ色)」としています。

【点灯期間】9月10日(火曜日)～9月16日(月曜日)

【実施建物等】(施設により点灯時間が異なります。)

横浜市庁舎	神奈川県庁本庁舎	横浜税関
横浜市開港記念会館	大観覧車「コスモクロック 21」	横浜ランドマークタワー(初)
横浜ハンマーヘッド	ハンマーヘッドクレーン	横浜美術館(初)(※3)
女神橋	鶴見つばさ橋	

※3 横浜美術館は9月10日(火曜日)のみの点灯です。

2 横浜駅六社局(※4)と連携した啓発

自殺予防週間中、各社局の駅構内等において、構内アナウンス・テロップによる「ゲートキーパーの周知」等を実施します。(実施内容は事業者により異なります。)

※4 横浜駅六社局…東日本旅客鉄道株式会社、京浜急行電鉄株式会社、相模鉄道株式会社、東急電鉄株式会社、横浜高速鉄道株式会社、横浜市営地下鉄

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



3 交通広告

交通広告を活用し、ゲートキーパーの役割や悩みを抱える市民に相談を促す動画広告を掲出します。

場所	横浜市営地下鉄ブルーライン・グリーンラインの車内ビジョン
期間	令和6年9月9日(月曜日)～令和6年9月22日(日曜日)

4 市民講演会

長期休暇明けの自殺者が増えるリスクが高いことから、夏休み明け直後の9月3日に思春期のメンタルヘルスに関する講演会を実施します。詳しくは別紙をご覧ください。

※申込は終了していますが、取材を希望される場合は、9月2日 17 時まで下記問合せ先へご連絡ください。

5 こころの電話相談

家庭、職場などでの人間関係やストレスによる様々な悩みや不安について、夜間・土日に横浜市民を対象に電話相談を行っています。(相談時間は、およそ 20 分程度としています。原則、継続相談はお受けしていません。ご理解、ご協力をお願いします。)

【専用相談電話】 045-662-3522

【受付時間】 平日:17時から21時30分まで / 土日祝日:8時45分から21時30分まで

「ゲートキーパー」とは

ゲートキーパーとは、気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。特別な資格は必要ありません。「いつもと様子が違う、そんなとき、ちょっと気にかけてみる、声をかけてみる」その声かけが、ゲートキーパーの第一歩になります。

ホームページにて、「ゲートキーパー養成研修～みんなでゲートキーパー宣言～」の動画を公開しています。是非、ご覧ください。

【横浜市 YouTube 公式チャンネル】

<https://www.youtube.com/watch?v=FBRKFAN9uXg>



厚生労働省自殺対策キャラクター
イラスト:細川貂々

【横浜市の自殺対策について】

横浜市自殺対策に関するホームページ ～生きる・つながる～支えあう、よこはま

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/kokoro/jisatsu/>



お問合せ先

健康福祉局こころの健康相談センター担当課長 中村 秀夫 Tel 045-662-3526



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



～夏休み明け直後、子ども・若者と関わるすべての方へ～

思春期のメンタルヘルス

自らを傷つけてしまう若者に、周りの大人はどのように対処したらよいか。思春期ならではのこころの問題を中心に説明いただき、周囲の大人ができることについてお話していただきます。

開催日時

令和6年 **9月3日(火)**

14:00～16:00 (開場 13:15)

会場

横浜市南公会堂 または
ご自宅などでYouTubeを視聴



講師

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 薬物依存研究部 部長 / 薬物依存症センター センター長

松本 俊彦 先生

【講師紹介】

自傷行為の臨床研究、自殺の実態解明に関する研究、薬物依存症の治療プログラムの開発と普及に関する研究に従事される傍ら、ご家族や、教育関係者、支援者に向けた多くの講演会にも携わっていらっしゃいます。主著として「自分を傷つけずにはられない」（講談社）「自傷・自殺する子どもたち」（合同出版社）など多数。



【対象】

横浜市内在住在勤の方

【定員】

横浜南公会堂 先着300名
YouTube配信 先着200名

ご参加を
お待ちしております。
おります。



入場無料

要事前申込み

【申込期間】 7月18日(木) 9時 ~ 8月20日(火) 17時まで

【申込方法】 横浜市電子申請・届出サービス

右記二次元コードよりお申込みください



※ 会場地図・申込フォームURL・手話・要約筆記・親子ルーム申込は裏面参照)

【問合わせ先】 横浜市健康福祉局 こころの健康相談センター 相談援助係
電話:045-662-3558 FAX045-662-3525

【会場】

横浜市南公会堂 *みなみん*

横浜市南区浦舟町2丁目33番地 (南区総合庁舎内)

会場の南公会堂は
南区総合庁舎の中の
3・4階です。



©2024 Google

【電車での行き方】



市営地下鉄 「阪東橋」 駅 徒歩約8分
京浜急行 「黄金町」 駅 徒歩約14分

【バスでの行き方】



バス停 「南区総合庁舎前」 徒歩すぐ
バス停 「浦舟町」 徒歩 約2分
バス停 「阪東橋」 徒歩 約8分

【手話通訳・要約筆記・親子ルーム (先着2組まで) (事前申込み制)】

ご希望の方は8月20日(火)17時まで以下のWEBよりお申込みください。

【申込フォームURL】

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/396163ef-d558-4cd8-b3d1-8bb1951a2d9e/start>

【注意事項】 録音、録画、撮影 (画面キャプチャ含む) 資料の二次使用は固くお断りします。

後援/かながわ自殺対策会議

九都県市「自殺対策キャンペーン」統一標語『気づいてください!体と心の限界サイン』

～生きる・つながる～支えあう、よこはま

横浜市自殺対策サイト

横浜市 生きる

検索